



## 卒論執筆応援！ $\text{\LaTeX}$ 講習会

東 卓弥<sup>1</sup>  
 桐嶋 輝俊<sup>2</sup>  
 山口 祐介<sup>3</sup>  
 平井 伴也<sup>4</sup>  
 岡村 尚樹<sup>5</sup>

### 1 はじめに

私たち研究室生活向上委員会は、研究室に所属する B4 から M2 までの大学生活をよりよいものにできるようなことがあるか考え、活動をしている団体です。11 月から活動を始動したのですが、まずはどのような悩みがあるかを洗い出しました。そこで出たのが、卒業論文執筆のことであり、 $\text{\LaTeX}$  についての悩みが挙げられました。学科によっては  $\text{\LaTeX}$  に触れる機会が多い学科もありますが、研究室に入って初めて  $\text{\LaTeX}$  について知ったという学生も存在するというのが現状です。

そこで、これから卒業論文を執筆する B4 を対象とした、初心者向け  $\text{\LaTeX}$  講習会を行おうと考えました。 $\text{\LaTeX}$  に触れたことのない学生が  $\text{\LaTeX}$  について知るために、また  $\text{\LaTeX}$  を触ったことがある学生でも、復習できるような内容を取り入れた講習会を開催しました。

### 2 講習会までの準備

講習会は二日間行い、時間は 30 分と短く設定しました。これは研究で忙しい B4 に多くの時間を割いてもらうのは難しいと判断してのことで、気軽に参加してもらいたかったので、この設定になりました。この時間で教えることができることは何か、実際に知りたいことは何なのか、それを考えることが一番難しい点でした。B4 の委員と話し合った結果、図の挿入は教えようということになり、これでパッケージというものがあることや、文章作成にはこんなコマンドがあるということを教える講習会にすることにしました。そして、実際に手を動かした方が身に付くということで、AV 講義室をお借りして Linux で文書作成の演習も交えました。しかし、図の挿入ができただけでは文書作成はできないので、 $\text{\LaTeX}$  についての簡単な説明と、章・節や図表、箇条書きなど論文執筆に必要な内容を載せたテキストを作成し、それを配布することで不足点を補おうと考えました。

<sup>1</sup>九州工業大学生生活協同組合研究室生活向上委員会

<sup>2</sup>九州工業大学生生活協同組合研究室生活向上委員会

<sup>3</sup>九州工業大学生生活協同組合研究室生活向上委員会

<sup>4</sup>九州工業大学生生活協同組合研究室生活向上委員会

<sup>5</sup>九州工業大学生生活協同組合研究室生活向上委員会



講習会資料

また、HP としてコマンドリファレンスを作成しました。HP としてすでに多くのリファレンスがありますが、より九工大生に合ったものがあればいいのに、と考え作成に至りました。質問フォーマットを付け、気軽に相談でき九工大の先輩が答えてくれるというより身近な HP にしました。

### 3 講習会の内容

講習会の内容は、まず  $\text{\LaTeX}$  についての説明から行いました。3 年生まででレポートなど文章を作成するときは、ワープロソフトを使っている学生が多数を占めます。そこで、 $\text{\LaTeX}$  とワープロソフトがどのように違うのか、 $\text{\LaTeX}$  の長所・短所は何なのかを説明しました。それから、基本となる documentclass の説明を行い、図の挿入について説明することで、パッケージの説明や、図の挿入まで全てコマンドで行うということを説明しました。説明が終わった後は演習として、図の挿入や文章を書いてもらい、どのように表示されるかを見てもらいました。



講習会の様子



実習の様子

## 4 実施状況

### 4.1 参加者数

参加者数は以下の通りです.

|         |                                                                           |
|---------|---------------------------------------------------------------------------|
| 目標参加者数  | 50 人                                                                      |
| 実際の参加者数 | 37 人                                                                      |
| (内訳)    | 学部 3 年生 : 1 名<br>学部 4 年生 : 34 名<br>博士前期課程 1 年生 : 1 名<br>博士前期課程 2 年生 : 1 名 |

初めての企画であったので, 目標参加者数をキリのいい 50 人と定め情宣を行いました but 目標を達成できませんでした. 情宣は研究室へのビラ配りを前日に行いました.

### 4.2 参加者の声

講習会終了後に, アンケートを記入してもらいました. 以下に抜粋した感想を載せていますが, たくさんのありがたい言葉をいただくことができました.

- L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X について知ることができた
- 教え方が丁寧だった
- 演習があったのでよかった
- 理解が深まった
- 図の挿入方法がわかった

しかし, 「開催時期が遅かった」, 「わかりづらい所があった」との声もあり, 今後の課題も上がりました.

## 5 まとめ

今回行った L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 講習会はニーズに合った企画でありました。目標数には届きませんでしたが多くの参加があり、中には一日目の参加者が友達を誘っていたということもあり、確かに必要なことであったと考えています。講習会は短い時間でしたが、参加者は L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X についての基本を学ぶことができた、とアンケートから推測できます。

しかし、内容の詰めが甘く、わかりづらいと感じた参加者や開催時期が遅いと感じた参加者もいたというのが現状です。次年度も活動を行う際は、これらを踏まえて講習会を考えていこうと思います。